

(michelangelo  
antonioni)  
**The  
Passenger**"

**jack nicholson  
maria schneider**



*Distributed by Cetera*

# The Passenger

Directed by Michelangelo Antonioni

1975

Starring Jack Nicholson / Maria Schneider

## さすらいの二人

制作総指揮:アレックスandro・フォン・ノルマン 制作:カルロ・ポンティ  
監督:ミケランジェロ・アントニオーニ  
脚本:マーク・ペプロー/ペーター・ワレン/ミケランジェロ・アントニオーニ  
撮影:ルチアーノ・トボリ 音楽:イワン・バンドール  
出演:ジャック・ニコルソン/マリア・シュナイダー/ジェニー・ラナクレー/イアン・ヘンドリー  
1975年/伊=仏=スペイン合作/124分/カラー/ビスタ  
配給:セテラ 宣伝協力:HEADZ



'96年、ウィム・ヴェンダースとの共同作品「愛のめぐりあい」で、奇跡のカムバックを果たしたイタリアの巨匠ミケランジェロ・アントニオーニ監督。「さすらいの二人」は、そのヴェンダースも絶賛する、長らくリバイバルが待ち望まれていた一本である。先だって再公開され、ヒットを記録した「欲望」「砂丘」に続くこの作品は、アントニオーニの最高傑作といっても過言ではない。製作された1974年から20年以上が経過した今だから

こそ、この映画は逆に新しさを増して見る者に迫ってくることだろう。

主演はジャック・ニコルソン。人気TVレポーターの職を捨て、砂漠を彷徨っていた彼は、ふとしたことから自分にそっくりな男に成り変わる。やがて彼は、ひとりの女子学生(マリア・シュナイダー)と出会い、旅を共にすることになる。二人の前に次々と起こる謎めいた事件……孤独な男女がさすらいの果てに見つけたものは、一体何だったのか?

### Talking About "The Passenger"

#### 「さすらいの二人」対談: 嶺川貴子×曾我部恵一 (サニードイ・サービス)

嶺川: 最初「たるいなー」(笑)とか思ってた。だんだんおもしろくなってきて、最後は引き込まれちゃう。ラスト・シーンで暗くなってきてギターが流れるでしょ、あれがすごい好きなの。

曾我部: あのラスト良かったよねえ。風景に建物が映り込んで、あの建物の感じが、すごい良いと思った。あとジャック・ニコルソンがいいですね。

嶺川: カッコいい!  
曾我部: ジャック・ニコルソンのしゃべり方が好きで。ヘンな何か甘ったるい。

嶺川: 特徴ある、鼻にかかったような。  
曾我部: なんか気付いたことありました?

嶺川: うーん、結構、普通に考えたら謎めいていて唐突なところがいっぱい。

曾我部: シュールな感じがすごいあった。事件の発生の仕方とか。

嶺川: そうそう。だけどそこ

がすごい好き。現実に忠実じゃないところが「ああ、アントニオーニなのかなあ」とか思ってた。

曾我部: 時間の流れが人生そのものようでしたね。

嶺川: そうそう。なんか、好きなレコード聞いているみたいなかんじってどうか。

曾我部: おもしろいカメラワークもあったよね。車の流れと合わさってカメラが動いたりする。

嶺川: 空間とか撮り方とかおもしろい。最後のシーンが長回しで7分も続いている。

曾我部: やっぱだらんとした…。  
嶺川: なんか抜けてんの(笑)。

曾我部: 何の目的で映画作ってんですかね。根本的な所が俺には全然謎ですよ(爆笑)。

嶺川: 同じストーリーでも今のメジャーなハリウッド映画だったら全然違う映画になっちゃうよね。

曾我部: ものすごいサスペン

嶺川: (笑)絶対なると思う。  
曾我部: そういところでリアリティがあっているなと思ったんですけど。「まあ、本当はこんなもんなんだろうな」みたいな。

嶺川: そう、逆にそれがすごい身近に感じられた。ニコルソンが監督に「普通にしてくれ」って言われて困ったんでしょ(笑)。

\*この対談の完全版は劇場用プログラムに収録されます。

#### ジャック・ニコルソン 「ハリウッドに歩いて来た男」

著/バトリック・マクギリガン  
監修/高見展 訳/島田陽子  
A5判 416ページ(予定)  
予価2,800円  
発行/プロデュース・センター出版局 10月初旬発売

「イージーライダー」制作寓話ほか下積み時代からの出演作を完全追跡した本格的評伝!



1/18 (土)より  
レイトショー!

連日PM9:20より(終演PM11:30頃)  
※2/1(土)からは連日PM9:00より(終演PM11:10頃)

●初日オールナイト・イベント! 1/18(土)PM9:20より 当日料金: 2,500円

#### Ambient Psyche Movie of Michelangelo Antonioni

「さすらいの二人」「砂丘」「欲望」「太陽はひとりぼっち」  
スペシャル・トークショー: 嶺川貴子×曾我部恵一<サニードイ・サービス>

渋谷区道玄坂・ザ・プライム6F  
シネセゾン渋谷

03  
(3770)  
1721

特別鑑賞券1,400円好評発売中!

(当日: 一般1,800円/学生1,500円)

特典・1 劇場窓口のみ特製ポストカード付

特典・2 オリジナルシャツと特別鑑賞券のセットが5,000円! 絶対、お得!